

議会だより

たかもり

令和7年7月31日発行

No.164



つち・みず・ひかりの恵み ～豊かなみのりへ～

02 6月定例会 議案ピックアップ

16 4年間を振り返って

03 補正予算・一般質問

18 みんなの声 牛牧

はら まさひろ
原 政宏さん
はら みき
原 美紀さん

11 委員会から報告します

山吹

歳入の主なものは、県補助金1531万円・諸収入430万円・町債1490万円の増額と、国庫補助金798万円の減額です。
歳出の主なものは、土木費1350万円・民生費846万円・教育費731万円・総務費487万円・農林水産業費159万円・消費費27万円・商工費8万円の増額と、予備費956万円の減額です。

教育費

郷土芸能保存団体支援事業 55万円

大島山瑠璃寺獅子舞の、大阪・関西万博への出演を支援するものです。



(齋藤 記)

土木費

町単道路整備事業 1350万円

町道112号線（高森あかり保育園前～間が沢大橋）の舗装修繕工事をおこなうものです。



一般質問 議員発 町政へ

一般質問は年4回開かれる「定例会」で、議員が執行機関(町長・教育長等)に町政運営全般にわたり、事務の状況や今後の方向性に対する疑問点を質問し説明を求めることで町政の姿勢を明確にするなどの目的があります。質問権は全議員に認められています。6月定例会では7名の議員が行いました。

4

三浦 喜久夫

大地震での避難所開設と運営

5

大島 正光

学校での危機管理体制は「MIZBEステーション」の進捗は

6

木下 啓爾

「ウェルビーイング実践校」とは

7

北沢 幸保

投資金額が回収できる運営を

8

原 敏明

ラドン温泉を楽しめる改修を

9

本島 未来

「信州らしい学び」とは何か

10

齋藤 天

農協民営化はリスクではないか



一般質問の原稿は質問した議員自身が内容を要約してお伝えしています。議事録は準備が整いしだい町ホームページに掲載します。

6月定例会 議案 ピックアップ

令和7年6月定例会は6月3日から18日まで行われました。本定例会では、専決案件2件・条例案件2件・契約案件2件・補正予算案件4件・人事案件2件・その他案件1件が上程され、いずれも同意・可決しました。その審査の中から、身近な事業を取り上げて報告します。

議決結果は
こちら



請負契約

令和6年度 道路メンテナンス事業/
防災・安全交付金事業 橋梁架替工事
変更請負契約締結について

479万円

小学生等、歩行者の転落を防ぐため、頑丈な柵に変更するなどしたためです。



歩道がついて安全になった城岸橋

財産取得

教育用タブレット 2000万円

国の構想に基づき、小・中学校の教育用タブレットを県共同調達により更新するものです。

数量 433台(小学5、6年生・中学1年生)
納期 令和7年7月31日

人事案件

教育長の任命について

再任 高野正延氏(山吹)
任期 令和7年8月11日から
令和10年8月10日まで

請負契約

令和7年度 交通安全対策(地区内連携)事業
道路改良工事 請負契約の締結について
7898万円

町道I-1号線(農協高森支所前信号～大丸山公園信号)の道路改良工事です。

工期 令和7年6月18日から
令和8年3月27日まで

Q 農協前は通行止めになるのか。

A 基本的には片側交互通行の予定だが、一部で全面通行止めもある。農協の営業や、土・日の通行への影響を少なくしよう考えている。



大丸山公園東交差点の見づらさを軽減します

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任について

新任 中平雅之氏(山吹)
任期 令和7年8月10日から
令和10年8月9日まで



お 浦 喜 久 夫
み う ら き く お

大地震での避難所開設と運営

総務課長 地域にあった開設方法の作成を啓発

大地震は「いつか来る」ではなく、「必ず来る」という時代。高齢化やなり手不足により災害時の活動に不安を抱えている地域もあると感じる。事前の話し合いで顔の見える関係を築くことが、減災につながる。

▽質問
帰宅困難者や在宅避難者、分散避難者の安否確認方法など、手順を確認する必要もある。

▽総務課長
本年度導入を進めている自治会活動を支援するアプリも、災害時に活用できるので、多様な手段で情報共有ができるよう、サポートをしていく。

▽質問
避難所の開設について、自主防災組織に周知されているか。

総務課長
地区の避難所の状況、住民の年齢構成や人口の状況などを踏まえ地域にあった開設方法を作成するよう啓発していく。

▽質問
指定避難所の耐震の状況は。

総務課長
昭和56年以前に建築された施設は1つあるが、耐震改修がされている。福祉センターは耐震基準を満たしていない。その他の施設については、耐震基準を満たしている。ただし、経年による劣化・老朽化など、施設ごとの状況は異なる。

▽総務課長
防災士会から、個票形式で避難者の基本情報を収集するための様式を作成し、事前に各避難所に備えておく提案がある。開設初期段階の必需品として整備していく。

▽質問
避難所の初期段階の運営について、女性・若者や自治会未加入者も含めて、事前に話し合うことがスムーズな運営・備えにつながると思うが。

総務課長
避難所の開設から運営、過ごし方、避難所での心構えを含め、関係の皆さんが意識を共有することは大切。地域に暮らす誰もが関係する「防災」というものを軸に、自治会の加入・未加入に関係なく、多様な人が顔の見える関係を醸成する場づくりを行うことが重要と考える。

▽質問
各地区の防災への取り組みを共有することで、町全体の防災・減災のレベルアップになると考えるがいかがか。

総務課長
各地区自主防災組織の

防災・減災につながる取り組みを、横展開するよう取り組みは実施できていない。防災対策会議の限られた時間で全地区の情報共有は難しいので、紙媒体などで共有することとは実施をしていく。



防災士会による避難所開設体験会の様子(7/6・福祉センター)

学校での危機管理体制は

教育委員会事務局長

学校間の状況を共有し整備を進めたい

▽質問

5月初めに、東京の小学校に男2人が校内に進入、ガラスを割ったり教員や事務員に暴行を行ったと大きく報道された。

当町の学校での危機管理体制、不審者侵入等の対応訓練等の状況を伺う。

教育委員会事務局長

現在、防災訓練については小中学校で定期的に開催しているが、不審者侵入等の対応訓練については、高森北小学校のみ

が隔年で実施している。

▽質問
今後は、すべての学校で計画的に訓練を実施するよう進めていきたい。

▽質問

学校に不審者が侵入した時に、非常時を他の先生などに知らせる手段や防災アイテムの整備状況は。

教育委員会事務局長

各学校には、さすまた、ネットランチャー等設置している。そのほか学校によっては防犯スプレー、ラジオ

ハンドカフ、フットキャップなど防犯器具を整備している学校もある。

▽質問

防犯カメラの設置について、町の考えは。

教育委員会事務局長

3校とも、学校の敷内を監視する防犯カメラは、現在設置していない。ただ、ボタンを押すだけで警察署に直接通知を行える、110番通報機器を、小中学校に設置している。

▽質問
防犯カメラ設置の計画は。

町長

学校施設に限らず、公共施設など必要に応じて先生方や、教育委員会と相談し判断していく。

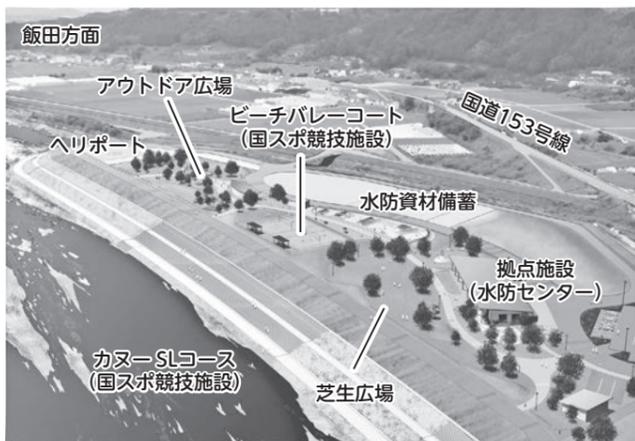
「MIZBEステーション」の進捗は

建設課長 令和10年国体開催、12年全体供用を

またビーチバレー競技の誘致を31年に一般質問にて提案した結果、誘致が決定した。その後令和5年に「MIZBEステーション」として国土交通省に全国で初めて登録された。国体開催に向けての進捗状況等について伺う。

建設課長

国土交通省では、当該ステーション区間の天竜川護岸等整備を、また、駐車場と国道からの進入路、ヘリポートの整備を計画。来年度は、9年度のリハーサル大会に向けたカヌーコースとビーチバレーコート等の整備を行う。令和12年度末に「MIZBEステーション」全体の供用開始を目指す計画である。



「MIZBEステーション」完成予定図

お 島 正 光
お しま ま さ てる



木下啓爾

「ウェルビーイング実践校」とは

教育長 保小中が同一歩調で子どもを育てる

本年度、教育委員会が取り組みを始めた「ウェルビーイング実践校」の趣旨や内容を町民に理解していただくために、質問を展開した。

「ウェルビーイング実践校」の構想・計画は。

一言で言えば、保小中12年間の接続により、保小中が同一歩調で子どもを切れ目なく育てることをねらいとしている。

学校運営協議会での資料には、町民の声の欄に、「元氣やたくましさ」が足りない」「エネルギーを感じられない」「自分

の意見をはっきり言えない」の3点、学校の実態では、「不登校児童生徒の増加」「不適応児童等も含めて増加」の2点が挙げられている。この関連性は。

町民の声にある子どもの姿を別の言い方をすれば、「素直でよい子だが、弱さが見られ主体性に欠ける」と言える。そうとらえると、不登校・不応とつながる点がある。

不登校問題と不適応問題に対して、「ウェルビーイング実践校」の取り組みは、どのような効果が期待できるのか。

一人ひとりに適した学びを提供することが、「ウェルビーイング実践校」のねらい。その子に合わせて「自分のペースで自分らしく」を大切に

することは、不登校や不適応問題にも一定の効果が期待できる。

今回の取り組みは、保育園の「あそび込み」を重視している。小中学校での教科学習でどう生かされるのか。また、学習指導要領との関連性は。

現行学習指導要領では、知識・技能と思考力・判断力・表現力の2つの柱を結びつける第3の柱として、「学びに向かう力・人間性等の涵養」が挙げられている。これは、学びを人生や社会に生かそうとする力だとしている。幼児期におけるあそび込みは、この第3の柱の学びに向かう力そのものである。また幼保小接続の成果としては①主体性の増加②円滑な学校生活③友だちと協働的に関

わる姿の増加④登校決りの減少、と考えている。



「学校運営協議会での熟議」

「ウェルビーイング」の実践は、学校・教員、保護者・住民のそれぞれの取り組みが必要である。保護者や住民への働きかけについて今後の計画は。

保護者や町民への情報提供は重要である。1つは、途中の経過を伝えることで、学校だよりや町のホームページで情報発信する。2つ目は、保護者や町民にも参加してもらえるような場をできるだけ多く仕組むことだと考えている。

投資金額が回収できる運営を

町長

施設を貸す賃貸借方式もある

たかもり温泉リニューアルについて、収支見通し・運営方法・土石流対策・財政見通しなど判断に必要な材料が町民に説明されていない。

基本設計に含まれていない、備品什器類・駐車場・温泉ポンプ更新・井戸の掘削工事などを含めて15億円という解釈でよろしいか。

現在、1600万円程度の指定管理料を支払って



北沢幸保

振興公社や観光協会は、温泉施設の運営のノウハウ・人材確保・経営責任の所在が即時に担える体制ではない。指定管理制度で町に利益還元を増やすには、施設を貸す賃貸方式もある。どういった運営がいいのか判断さ

ているが、改修後には全く無くなる。営業努力で生み出される利益であり、その利益がさらに投資的な事業に回って、人を集める可能性につながると思っている。

まちづくり振興公社や法人化した観光協会などでの運営も検討すべきではないか。

現在の1600万円程度の指定管理料を支払って

現在、1600万円程度の指定管理料を支払って

せていただきたい。

土石流対策として、改修工事前に防災の専門家に設計図を見ていただいて、ご指導をいただくべきではないか。

今後の検討課題ということで参考にさせていただきたい。

夜間に避難発令が出た場合、宿泊者の避難をどのように設定しているのか。

指定管理者と連絡など密にして、宿泊者自身で避難していただく方法と、それが困難な場合は福祉センターへの避難を想定している。

今後5年間に6億円の事業を想定している中で、地方債償還の実質負担額は、令和5年度の1・

リニューアル後の収支見込 (単位:円)

科目	収支見込	算出根拠	
収入	入浴料(町民)	25,000,000	入浴客5万人×客単価500円
	入浴料(観光客)	135,000,000	入浴客15万人×客単価900円
	宿泊	160,000,000	宿泊者2万人×客単価8000円
	レストラン(日帰り)	24,000,000	3万人×800円 ※喫食率15%
	レストラン(宿泊者)	40,000,000	宿泊者2万人×客単価2000円
	テナント収入		
	収入合計①	384,000,000	
支出	売上原価	63,000,000	現在の仕入高の3倍で算出
	人件費	74,521,000	DX化を促進させる。1日24人工で算出
	水光熱・メンテナンス	117,700,000	倉橋設計士の試算より
	販売管理費(修繕・外注)	70,200,000	現状のコストの3倍
	入湯税	13,000,000	宿泊150円、日帰り50円で算出 ※高森町の税収
支出合計②	338,421,000		
収支差額(①-②)	45,588,000	※指定管理者の利益	

中央アルプスリゾート株式会社 提供の資料より

町の税収と指定管理者の利益に大きな差がある収支見込

9億円が令和11年度には2・7億円になると試算している。しかし、何年度に償還額のピークになるという見通しは説明されていない。どの様に地方債の償還をコントロールしているのか。

総務課長

交付税率も変わっている。完全に見込むというのは難しい。毎年9月議会で決算を報告していて、実質公債費比率が25%以内、将来負担比率が350%以内になるようにコントロールしている。



あき 敏 原

生かした温泉としては見込めなため、今回の改修では検討していない。

▽質問

源泉ポンプは現在故障して、汲み出すことはできていない。温泉湧出量について、実際にどのくらい湧量を得られるのか、たかもり温泉の改修前にポンプを更新して調べておく必要があると考えるがどうか。

産業課長

令和6年度に源泉の孔内調査を実施した際に、過去の湯量調査を参考にした予測値は、10年後の35年には8〜11m³/日としている。

▽質問

改修前にポンプのみの交換は予定していない。サウナを新設し、井戸水を使った水風呂の設置が計画され井戸の掘削も示されている。しかし、バイオマスボイラーを導

入した折に失敗している。今回はどのような方策を検討しているのか。

産業課長

温泉周辺の地質等調査と、バイオマスボイラー建設時や南大島川の橋梁建設時のデータ等を確認した。南大島川の伏流水が期待できる、敷地の南側付近で位置を絞っている。掘削してみないとわからない。

▽質問

温泉施設の運営では、清潔で安全な施設と運営が大事である。温泉法や県の公衆浴場条例など、法令等に沿った施設設計・施設運営を検討しているのか。

▽質問

洗い場の数について不足しているとの声がある。サウナを増設すればよくなり不足なくなる。設置基準に沿った増設を検討しているか。

この基準にすべて適合することは困難だ。意見募集で、混雑時の洗い場の不足が指摘されている。今回の改修で、少しでも洗い場を増やすことができないうか、露天風呂の出入りに近い場所では、風の吹き込みによる影響も考慮して設計を進める。

産業課長

実施設計では、公衆浴場として法令に則った施設とするため、事前に保健所とも協議をして進めている。施設設備の望ましい構造基準では、洗い場の数の目安を時間客数の3分の1としているが、



御大の洗い場

ラドン温泉を楽しめる改修を

産業課長 含有量の減少で検討していない

産業課長

信州たかもり温泉の源泉は、掘削時には温泉分析によりラドン含有量が多く泉質をラドン温泉と謳える基準8・25マツヘ/kgを超えていたが、令和2年度の温泉分析では、ラドンの量が減少し6・05マツヘ/kgとなつて、温泉法上の温泉ではあるが、「ラドン温泉」と謳えなくなった。ラドンを

「信州らしい学び」とは何が

教育長

子ども中心・主体の学びそのもの

教育長

これまでの大人の目線で、子どもための環境整備について考えてきました。実際に大事なのは「子どものため」ではなく、「子どもとともに」がこれからの主流です。子どもの意見を傾聴することが重要になると考えます。

▽質問

子どもが意見や考えを表明できるようサポートする、子どもアドボカシーについて考えを伺う。

大切にすべきものと考えます。保育倫理綱領には、「子どものニーズを受け止め、子どもの立場に立つてそれを代弁します」という文言があり保育士の使命と受け止め子ども

変える」につながる。

▽質問

不登校児童生徒や教育的支援が必要な子どもたちが、自ら学び方を選択でき、自己表現できるためにどのようなサポートを行うのか。

教育長

自ら体験をすることの意味や自分がやりたいことを自己選択、自己決定していく過程の大切さが見えてきた。子どもにとって、場所的・人的な意味で安心できる場所が必要であり子どもの「自ら」を保障するためには、実践的指導を通して得た財産を、保小中の教師や保育士が共有し、サポートすることが大切と考える。

▽質問

「信州らしい学び」とは何が。

教育長

長野県では、子どもの知・徳・体の調和のとれた発達を育むことを重視してきた。子どもをしっかり見つめる時の「みとる」という用語・総合的な学習の時間が生まれた時のモデル。「ごどもまんなか」という言葉は信州教育や長野県がモデル。昨今の子ども中心、子ども主体の学びは信州らしい学びそのものと考ええる。

▽質問

一斉保育・一斉授業からの脱却実現のために、学校・自治体・保護者・地域それぞれに何が必要と考えるか。

教育長

保育園や学校職員の主体的な動き必要な研修の場を確保しサポートする。



「自ら」描く学びのかたち～すべての子どもの意見を尊重することが大切～

※TOCCO-TON

全ての子どもたちが「好きや楽しい」「なぜを」とことん追求するために、自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校を目指す取り組み。



らい 未 本島

第7回 議会だより モニター会議 開催 5月15日

159号から活躍^{かつやく}されている第3期モニター6名のみなさんが「議会だよりモニター会議」に参加してくださいました。(1名欠席)
 まず、資料をもとに「議会の役割」などについてふれたあと、令和3年4月発行の147号と前号163号を照らし合わせて、モニターさんの提案などにより「議会だより たかもり」の編集が、どのように変わってきたのかを振り返りました。
 会議中の意見交換でいただいた「モニターさんの生の声」の一部を掲載します。



＜任期 令和8年3月まで
第3期モニターのみなさんと

☆・・・・・・・・モニターさんの生の声・・・・・・・・☆

- ★十分見やすくなっていると思います。線の太さや背景の濃淡などに、どのくらいの時間格闘されたのかと思うと、すごく時間もったいないと思ってしまう。そこに時間をかけるよりは、他の仕事をしてもらった方がいいと思います。
- ★枠に角がないので見やすく優しい感じになりました。吹き出しの文字がLINEのような形なので、若い方やいろんな人の目にパッと入りやすく見やすいと思います。
- ★線が細くなったことで読みやすいと感じました。
- ★昔の文字数を考えれば、今の方が空間をうまく使いながら、でも伝えたいことは短く分かりやすく感じます。
- ★一般質問は題名を見ても、何について言っているのか分かりにくいです。分かりやすい題名にして、長くない文で、箇条書きなど端的に質問と回答を書いている方が読みやすいと思います。
- ★経験上、相手に伝わる文章を作るということは簡単そうで非常に難しいです。長い文章をシンプルにするとなると、文字を選んだりするのでなかなか奥が深いと、改めて感じました。
- ★内容や、ボリュームに関しては、議員さんが伝えたいことであれば載せるべきだと思いますし、読む方としても自分の興味のあるところをまず読んでいけば、それが全員同じではないと思います。

いかがでしたか。みなさんも議会だよりについて提案やご意見がありましたら、お近くの議員までおよせください。

(小沢 記)

農協民営化はリスクではないか



ひろし 藤 齋 天

町長 外資は私も反対である

米騒動が起きています。農業や農業協同組合(以下農協)について、メディアを賑わせています。農協はだめだとも聞きますが、具体的に問題点はわからない。本質はなにかということ、明らかにはいきません。個人的には、郵政民営化のときのような大失敗を何としてでも、止めたいと考えております。過去にはカナダやオーストラリアの農協が民営化の名の下に株式会社化し、市場に開放されることで海外投資家の餌食になり、異常な物価高騰などで格差が広がり、経済的な困窮から先祖伝来の

土地や農地を奪われることが起きています。

▽質問
茨城県農協で「農家の声を農協に届けられない」を理由に役員が集団辞任が発生し、農協離れなど指摘されたが、みなみ信州農協ではどうか。

町長 毎年、地区協議会と集落懇談会を開催し、その年の事業報告と翌年度の重点事業項目を説明している。組合員からの意見や要望を集約し、それを基に事業改善に取り組んでいる。

組合員一人ひとりが農協との信頼関係を築くために、農協との関係性を自ら考えることは、農協が生き残るための最後の手段だと思っているし、みなみ信州農協はその取り組みに努めており、期待を持って見守りたい。

▽質問
現在の農林水産大臣は、農業及びJAを民営化すると言われているがどう考えるか。

町長 日本の農業において、生産者が高齢化し、数が減少している一方で、消費者は多いという現状がある。特に田舎では小規模な田んぼが多く、生産効率が低下している。この状況を支えるのは農協であり、利益を生産者に還元する仕組みが必要であるが、米の価格高騰は先物取引などの影響を受けており、農協の役割や流通の構造に疑問視もある。国が備蓄米を直接小売りに出すことは、地域経済の流れに影響を及ぼす可能性があると考えます。生産者と消費者を直接つなぐ仕組みを作ることなどで、利益率を向上させることができるかもしれない。

協同組合と株式会社の違いについて

	協同組合	株式会社
目的	<非営利目的> 組合員利益の増進と国民経済の発展	<営利目的>利潤の追求
組織者	<組合員> 農業者・漁業者・森林所有者・勤労者・消費者・中小規模の事業者など	<株主>投資家・法人
事業・利用者	事業は根拠法で限定 事業利用を通じた組合員へのサービス 利用者は組合員	事業は限定されない 利益金の分配を通じた株主サービス 利用者は不特定多数の顧客
運営者	組合員(その代表者)	株主代理人としての専門経営者
運営方法	1人1票制	1株1票制
	協同組合	株式会社
特徴①	長期的・多面的・利他的	今だけ・金だけ・自分だけ
特徴②	力を合わせて負け組を作らない	他者を蹴落として勝ち組を目指す
絶対的相違点	絶対に買収できない	狙えば必ず買収できる

「農協が日本人の“食と命”を守り続ける」より

著者の久保田治己氏が考える両社の違い

町長 行政は、生産者がしっかりと収入を得られる農業の実現に向けて努力し、農協とも協力していく必要がある。

▽質問
農協の民営化はリスクだと思いませんか。

町長 一番のリスクは農協グループの金融・共済が弱体化したときに、他社に流れることだと思つて。そこに外資を入れるのは、私も反対である。

下伊那厚生病院との懇談

6月9日

厚生病院会議室で^{さく}朔院長はじめ病院役職員の皆さんと懇談しました。地域医療の課題と合わせて病院の事業概況について説明いただき、意見交換をしました。

1 町ヘルススクリーニングを担うこと

近年、この地域の開業医の閉院もあって、この病院のベッド利用率は94%となり、入院をお断りしなければならないことがあるそうです。高森町の集団健康スクリーニングをおこなっている佐久市のJA長野厚生連健康管理センターのこの事業は、医師・看護師・運転手などのスタッフ確保が難しいことなどから縮小することになりました。

令和8年度からの高森町・豊丘村の集団検診については、下伊那厚生病院が担うことになりました。

今年度の町のヘルススクリーニングは、病院北隣の地域交流センターで、健康管理センターがおこない、それを下伊那厚生病院が手伝いながらノウハウを勉強することになっているとのことです。



2. 病院・診療所の連携の強化

- (1) 後藤医院との連携
在宅診療の連携をつくり患者登録を進めています。
- (2) 下伊那赤十字病院との連携
災害医療訓練実施に向けて、松川町の日赤での訓練の見学と防災対応研修をおこない「日赤の災害医療のノウハウ」を学びました。
机上での訓練から始めて、行政も巻き込んだ共同訓練の実施を目指しているとのことです。

(原記)

No.163に寄せられたモニターさんの声

「委員会から報告します」と「その他 お気づきの点」についていただいたご意見の一部を紹介します。



全項目はまちホームページに掲載しています



▼委員会から報告します (24~27ページ)

- 委員会視察や懇談会の掲載は、活動の内容も分かりやすくており、見やすいと思いました。
- 議員さんの仕事内容が分かりやすく書かれているし、視察も多く行かれている様で大変さが読み取れました。

▼その他 お気づきの点

- 今後も小学生にも興味持ってもらえる議会だよりの作成宜しく願い致します。自宅に小学生おりますが時間あればゲームばかりです。議会だより同級生みんな家で読んで話して興味持たす様に行きたいです。
- 議会だよりにしっかり目を通す様になり、町の事を以前より知ることが出来たと思います。多くの町民のみなさんが読んでくれるとうれしいです。
- (写真について) 工夫していけば写真OKな人、団体などあると思いますので、どうか人物写真をがんばって掲載し続けてください。

(小沢記)

第7回「しごと★未来フェア」出展

5月23日

中学2年生を対象にキャリア教育の一環として、地域のさまざまな企業や団体を知り、働く人たちがどんな想いで仕事をしているのかなどを学ぶことを目的として「しごと★未来フェア」が開催されました。



教育委員会提供

将来の働く姿を思いえがいた生徒と地域の企業・団体の皆さん



2回目の出展となる高森町議会は、生徒たちに議会の役割や議員の仕事について、議会だよりなどを使い説明を行いました。生徒たちからは「予算はどのように決まるのか?」「議員のやりがいはいは?」などの質問が出されました。今回は保護者の皆さんにも参加が呼びかけられ、生徒と一緒に説明を聞く姿も見られました。この「しごと★未来フェア」を通じて、議会を身近に感じ、未来の大人が「議員」を職業選択のひとつとしてくれることを願います。

(河合記)

わたしもひとこと

保護者の声

今年度は保護者の見学ができることで、覗かせていただきました。子供達が様々な仕事に触れ、地元の企業を知ることが出来る貴重な体験だと思いました。地域に更に愛着がわき、将来の選択肢が広がる素晴らしい機会をいただけてありがたいなと思いました。



生徒の声

しごと未来フェアを通して地域の職業の種類や各職業の仕事内容がわかりました。議会コーナーでは町政がどのように成り立っているのか、運営されているのかがわかってよかったです。将来の職業を決める上での参考になりそうです。

あれは今 どうなってるの？

追跡!!

1年程前の一般質問で取り上げられた事柄の中で「検討したい」との答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応や、現在の状況を報告します。議会だより164号では2件の追跡を掲載します。

質問

リニアが開通すれば東京や名古屋まで20分から40分、山吹団地・駒場団地2つの町営住宅を、町への移住・定住を促進するための政策にしては。【令和5年3月議会定例会】

答弁

住居環境は非常に整った場所にあるが、入浴施設とともなく老朽化が進んでいる状況ですが、団地の集約化による土地及び管理の効率化とも合わせて、検討してまいります。

【町長】



山吹の町営住宅

その後

町営住宅山吹団地については、令和5年度から県と県営住宅協働建て替えに関する意見交換を始めています。令和7年度に策定する立地適正化計画に基づき、山吹下河原地域へ居住や都市機能を誘導する意味からも候補地であるため、今後も継続して県との協議を進めていきます。

質問

「高森町の不登校を0にする」ための、学校や専門家の支援と予算は。

【令和5年9月議会定例会】

答弁

町の状況なども踏まえて、臨床心理士を常駐させてほしいという声も出ています。こうした現場の様々な声を聞きながら今後、予算も検討してまいります。

【教育長】



たかもりこども家庭センター
相談窓口のみなさん

その後

健康福祉課には新しく「たかもりこども家庭センター」が設置され専任の社会福祉士も配属されて、こどもの居場所づくりや相談などの体制づくりを整えております。今後も健康福祉課や学校現場とも連携しながら、専門家の配置については検討してまいります。

(小川 記)

自主研修事業報告

責任ある積極財政を推進する議員連盟 第33回勉強会
令和7年4月16日 衆議院第二議員会館 第一会議室

地方から日本を輝ける国に 齋藤 天

地方議員で活動している中で、議案や政策などが現場に合わない感じがしており、国政の観点などを知りたいと思うようになりました。高森町では竜神大橋・MIZBEステーション・三遠南信道・リニア新幹線などのインフラ事業とも関わりが多くあることから、国がどのように考え決定しているのか、課題や解決策などの検討もできればと思います。今回の学習会に参加させていただきました。

主催の「責任ある積極財政を推進する議員連盟」は、積極的な財政出動により経済が着実に成長することで、国民生活の豊かさや税収の増加により、科学

技術・教育・国防・福祉国家の強化発展をなしとげ、総合的な国力の増強を目的とし、歴史に学び、積極的な財政政策の必要性を共有し、諸外国の事例も参考にしつつ、国家国民のために、真に必要な政策への転換を図るため設立された。

講師は、元国交省技監・大石久和先生をまねき、これから全国的に道路・トンネル・河川・上下水道などの多くが建設後50年以上を経過し、老朽化水準が高くなる。しかし1970年以降、建設国債が80%も減少し財源がなく、現在の緊縮財政派の多い国政では、地方への財政支援もできないため、「荒

廃する日本」がくると警鐘を鳴らし、さらにG7とのインフラ予算差や日本政府のネガティブさを強調した。加えて日本国憲法の「国政は国民のために存在する」に反し、生活保護164万世帯に増加と指摘。カナダ経済学は「日本国民の貧困化は、世界に例を見ない完全な政策ミスによるものである」と批判している。そのため、地方議員が住民にインフラの重要性などを伝え、しっかりと国会議員を選び、国・県に従うしかない状況を変える声をあげてほしい。と訴えた。

令和7年度の「自主研修事業」を利用して、4月21・22日に、大津市の「全国市町村国際文化研修所」に行ってきました。2月に研修をしたばかりでしたが、「SNSと行政」の講座から学ぶことがあると考えて参加しました。

今回の研修は、「市町村長等・議会議員特別セミナー」で、会場参加者155名、オンライン参加者50名。市長・町長・副市長・地方議員等、多種多様な参加者の研修会でした。4つの講義の中で私が注目したのは、国際大学グローバルコミュニケーションセンター山口真氏(准教授)のお話でした。演題は「偽・誤情報問題」その現状と求められる対

策」でした。主な内容は、①兵庫県の齋藤知事、都知事選の石丸候補の選挙戦術で、SNSと選挙が注目を浴びた。②「SNSのメリットは、政治への関心を高め裾野を広げた」こと。③「既得権益と闘っている」などの「正義と悪」のような対立構図や、「怒り・正義」などは拡散しやすい。④明らかでないフェイク情報だけでなく、真偽不明な情報も拡散される。などでした。また、フェイク情報(偽情報)については、①ウクライナ戦争でのフェイク情報が、平和を脅かす。②国内でも「災害時」新型コロナウイルス関連「政治」など多くのフェイク情報(「デマ」や「陰謀論」)が

拡散している。③日本のフェイク情報に対する「耐性」は低く、「事実確認をしない人」が多い。との内容でした。

今回の山口先生の講義は「選挙とSNS」が中心でしたが、今までの議員経験から「町政にも当てはまる内容」と思いました。

町政においても「怒り」「正義と悪」など、行政と住民の対立構図を主張しているのは、「住み良いまちづくり」は出来ません。

町からは、常に施策に係る正しい情報を発信する。そして、その情報をもとに町民が正しい判断を行いまちづくりに参画すること。初めて施策の効果が上がるのだと感じました。



全文はこちら



原 敏明

舟券売り場など多くの請願が出されました。議会基本条例も出来て町民との懇談会も行われ、みなさまのご意見をいただき勉強になりました。舟券売り場の建設を止める事が出来て良かったです。



北沢 幸保

「サッカー場と場外舟券売場を考える会」「まちづくりを語る会」に参画し、町民の声を一般質問や請願で訴えて来ました。語る会員から議員に立候補を決意する人も現れ今後の活躍が期待されます。



小平 一博

3期目は議長、監査員として町の重要なポストに関わることができました。公約の北小学校児童数減少問題は、この地域の住宅計画など町、山吹地域の賑わいや人口増加に力を注ぎました。



大島 正光

私が提案したかわまちづくり「MIZBEステーション」が全国初、国交省が認定。3年後の長野国体でカヌーとビーチバレー会場にも決定。賑わいの場として着々と進行中です。4期16年間「安心、安全で住みやすいまちづくり」に取り組んできました。支えていただいた皆様に感謝致します。



市川 信幸

コロナの影響で、いろんな活動が停滞し始めました。町民の皆さんには、大変ご不便をかけたのではないかと思います。後半2年は副議長としての役目を担当し、町内だけでなく北部5町村や広域連合議会の代表もさせていただきました。ご指導・ご支援有難うございました。



岩口 友雄

これまで議会運営に対しご理解・ご協力頂き、また私を支えていただきました町民の皆様・議会の皆様・役場職員の皆様には改めて感謝申し上げます。また、視る・聴く・応えるの下、議員活動をさせていただきました。ご指導・ご支援有難うございました。



三浦 喜久夫

議会基本条例が制定されました。町民との対話を増やし、議員間協議を活発に行う議会に。柔軟に動ける議会の一步を踏み出しました。議会が変われば～町も変わる。4年間お世話になりました。

4年間を

～任期満了を

令和3年7月30日～

振り返って

迎えて一言～

令和7年7月29日



木下 啓爾

2期目の4年間で「議会改革」を大きく前進させることが出来ました。1期目での課題「議会は何をするべきか」を「議会基本条例の制定」と「町民との懇談会の実現」で、今後の議会の方向性が見えてきたことが大きな成果でした。



本島 未来

任期のほとんどをコロナ禍の中で、町民の皆さまの支えとお声を寄せていただき、一緒に模索を重ねて来ました。様々な行事が戻りつつある今しっかりと今後も皆さまに寄り添って行きたいと思っております。ありがとうございました。



齋藤 天

緊張と不安の連続でした。地域の道路穴や土手決壊の改善、空き家対策、遊休農地対策、移住者支援、教育関係など小さな一歩ですが地域に貢献できました。お世話になりましたみなさま、ありがとうございました。



小沢 恵子

議会が女性にとって本当に働きやすい環境か、疑問が残ります。それでもこの4年間、無事に務めを果たすことができたのは、多くの皆さまのご理解とご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。



河合 隆俊

この4年間で、皆さまから、さまざまなご相談をいただきました。その声を「どれだけ行政に届け、お応えすることができたろうか」と振り返る日々です。ご支援くださった全ての皆さまに、心から感謝いたします。



小川 修

ゼロカーボンにともなうデジタル化により、パソコンはもちろんタブレットの使用が必要になりました。幸いにも親切な先輩方や優秀な同僚議員に助けられる今日。4年間支えていただいた地域の皆さんに感謝。隣の席が唯々寂しい。



佐々木 昌

故 佐々木昌議員は、1期4年の任期中、一般質問を通して鳥獣害対策に取り組み、シニア大学では、講師を務めるなど町民のために尽力されました。彼の議員活動は、私たちの模範であり心に永遠に残ります。



分からないことばかりの農作業

牛牧 **原 政宏**さん

5年前に高校教員を定年退職し、現在は市内の高校で非常勤講師を務めながら農業に携わっています。現役の頃は勤務の都合上、草刈りや果樹の収穫に関わった程度で、農地管理や作物栽培については専門だった両親に任せきりの状態でした。

一昨年父が他界したため、本格的に家業にも取り組まなければならぬ状況になりました。専ら母にあれこれ教えてもらいながら作業を進めていますが、まだまだ分からないことが多くあります。農業の中心はリンゴ栽培ですが、消毒や折々の作業が天候の関係で予定通りに進まず、困ったことが何度もありました。ただ折に触れ、地域の先輩方からアドバイスを頂戴し本当にありがたく思っています。この感謝の気持ちを忘れず、これからも元気に取り組みたいと思う毎日です。

みんなの声



子どもたちに感謝

山吹 **原 美紀**さん

私の中で子どもたちを育てた時間は、私を大きく成長させてくれた貴重な時間だったと感じています。子育て中は寝不足や忙しさに追われ、子どもの成長と共に反抗期や進路の悩みなど大変な事も多くあり、完璧な親・理想の親になれず落ち込んだ事もありました。子育ては思うよういかないことも多く、忍耐力や柔軟性が必要です。

私は子どもの視点で物事を見る事で視野が広がり、新しい価値観が生まれたと感じています。今は2人の娘が立派に自分の道を歩み、末っ子は進路を考える真つ最中です。あの忙しく賑やかだった時間は、私にとって素晴らしい学びの時間だったと、子どもたちに感謝しています。これからも一人の人間として子どもたちと向き合い、共に学んでいきたいと思えます。

表紙の解説

スマート農業が叫ばれて久しく、進む機械化・デジタル化の波も押し寄せる中、少しの雨や暑さにめげず慣れぬ作業に勢をだす若者や、資材・肥料の高騰に伴う経営環境に苦しみながらも、収穫の時は日焼けした顔が思わずほころぶ農家に、計り知れない日本の底力を感じます。

白々と明け行く朝、植えたばかりの田に南アルプスが映える風景を、いつまでも観ていられる高森町がいいな一と思うこの頃です。(小川 記)



夜明けの早苗田

議会ホット情報便のお知らせ

放送日：毎月第3
土曜日～1週間
7：00 9：00
13：00 17：00
19：00

8月以降の担当者は
議員改選のため
未定です

あなたも議会を傍聴してみませんか？
次回の定例会は

9月です

場所 役場3階議場
詳しくは議会事務局へ
☎35-9404

古紙再生紙使用

編集後記



今号は議員の任期満了にあたり、16・17ページに各議員のコメントを掲載しました。8冊にわたってお届けした現在の編集委員による作成も、これが最後となります。

わかりやすく、「ちよつと気になる1冊」にするにはどうすればいいのか、伝える責任と向き合ったこの2年間、『わたしもひとこと』のコーナーなど、みなさんのご協力と支えが、作成の励みとなりました。

今号も最後まで目を通してくださり、本当にありがとうございました。

(小沢 記)

～議会だよりをお読みになってのご意見・ご感想をお寄せ下さい～

発行／長野県高森町議会 責任者／岩口友雄 編集／議会だより編集特別委員会
〒399-3193 下伊那郡高森町下市田2183番地1 TEL0265-35-9404 FAX0265-35-8294



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。